



LS9 ショートカット & Tips集



1. EQフラット(チャンネルEQ一括フラット)

セレクトッドチャンネルセクションのHIGHとLOWボタン同時押しすると
選択中のチャンネルEQを一括フラットにします。



2. EQフラット(チャンネルEQバンド別フラット)

セレクトッドチャンネルセクションのQとGAINノブを同時押しすると
選択中 (LOW、LOW MID、HIGH MID、HIGH) のバンドをフラットにします。



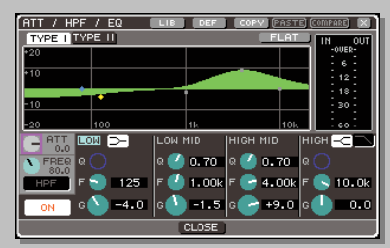
3. バーチャルラックページ表示

DISPLAY ACCESSのRACK1-4、
RACK5-8ボタンを同時押しすると
バーチャルラックページを表示します。

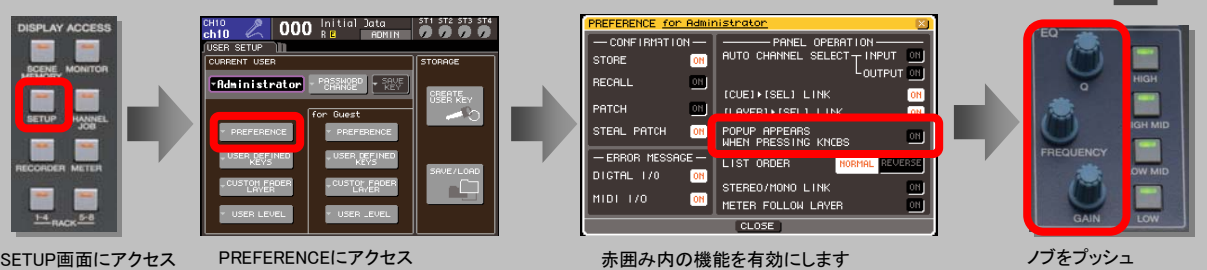


4. EQやDYNAMICSのポップアップウィンドウを素早く表示

DISPLAY ACCESSのSETUPからUSER SETUP画面に入り、
PREFERENCEボタンを選択します。
PREFERENCEページ内の
「POPUP APPEARS WHEN PRESSING KNOBS」をONに設定すると、
セレクトッドチャンネルのノブをプッシュしたときに、
プッシュしたノブの機能に関連したポップアップウィンドウが表示されます。



ポップアップウィンドウを表示。
再度ノブをプッシュすると
ウィンドウを閉じます。



SETUP画面にアクセス PREFERENCEにアクセス 赤囲み内の機能を有効にします ノブをプッシュ

5. 画面のコントラスト調整

HOMEボタンを押しながらダイヤルをまわすと画面のコントラスト調整ができます。

HOMEキーを押したままダイヤルをまわす



6. 特定のページやポップアップウィンドウをすぐに表示 (ユーザーディファインドキー活用)

USER DEFINED KEYS画面でユーザーディファインドキーに「PAGE CHANGE」⇒「PAGE BOOKMARK」の機能を割り当てます。記憶させたいページやポップアップウィンドウを画面に表示させながら「PAGE BOOKMARK」を割り当てたユーザーディファインドキーを2秒以上長押しすると、そのページもしくはポップアップウィンドウを記憶させることができます。

SETUP画面にアクセス

USER DEFINED KEYSにアクセス

割り当てをしたいキーを選択し、表示されるポップアップウィンドウからPAGE CHANGE、PAGE BOOKMARKを選択

記憶したいページを表示しておく

PAGE BOOKMARKを割り当てたキーを長押し

7. カスタムフェーダーレイヤーに素早くチャンネルを割り当てる

CUSTOM FADER LAYER画面で割り当てるチャンネル先を選択しながら割り当てたいチャンネル元のSELECTボタンを押すと素早く割り当てることができます。

チャンネルのSELボタンを押すと割り当てられる

8. ノブの押し回し操作

セレクトッドチャンネルセクションにある一部のノブは押しながら回すことで微調整を行うことができます。

インプットチャンネルEQのHIGH、LOWではシェルビングとピーキングの切り替えができます。



ゲインの微調整



パンニングの微調整



センドレベルの微調整

9. インプットチャンネルセクションを素早くノミナルレベルに設定する

- チャンネルフェーダーをノミナルレベル

USER DEFINED KEYSから「SET NOMINAL LEVEL」を選択。

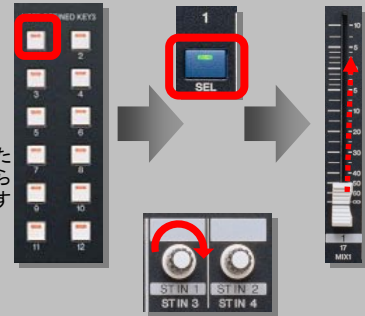
割り当てたUSER DEFINED KEYSを押しながらノミナルにしたいチャンネルのSELボタンを押すとノミナルレベルになります。

- ST INチャンネルエンコーダーをノミナルレベル

ST INチャンネルエンコーダーは

アナログトリムを回す感覚で回すと自動的にノミナルレベルになります。

「SET NOMINAL LEVEL」を割り当てたボタンを押しながらチャンネルのSELボタンを押す



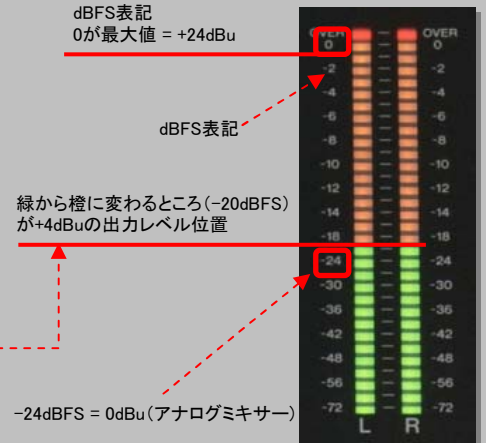
アナログ感覚で3時の位置まで回します

10. レベルメーターの見方 (デジタルミキサーのレベルメーター)

- デジタルミキサーのdB表示について
アナログミキサー ... dBu
デジタルミキサー ... dBFS (最大値が0)

- ヤマハデジタルミキサーのアナログ最大出力レベルについて
LS9-32/16 ... +24dBu
M7CL-48/32 ... +24dBu
PM5D/PM5D-RH ... +24dBu

- 業務用音声基準値の+4dBuを出力するには？
レベルメーターで-20dBFS振らせませす。



11. 本体のイニシャライズ (工場出荷時に戻す方法)

DISPLAY ACCESSセクションにあるSCNEN MEMORYボタンを押しながら本体の電源を入れると起動メニュー画面に入り、イニシャライズが行えます。
起動メニュー内ではフェーダーキャリブレーションなども行えます。

SCENE MEMORYボタンを押しながら本体の電源ON

